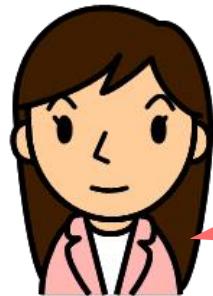


幼稚園におけるポジティブ行動支援

～大切にしよう「じぶん・ともだち・もの」～

子供たちの姿・職員の思い



新しい環境に不安な様子が見られる。
いろいろなことができるようになっていく中で自信をもって行動してほしい。

友達の中に自ら入れず、一人で遊んでいる。
みんなで頑張る楽しさを感じてほしい。



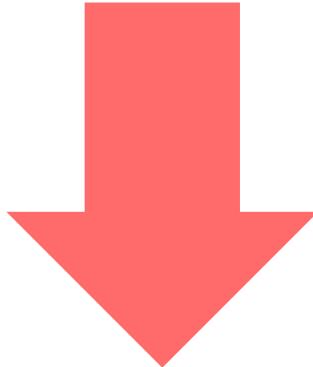
**自分の思いをうまく伝えられず
トラブルになることもある。**
自分の思いを表現する方法や思いやりの気持ちに気付いてほしい。

取組

- ①スクールワイドPBS実践に向けての体制づくり
- ②マトリクス（3つの大切）の作成
- ③マトリクスの完成
- ④実践
- ⑤振り返り

取組① 実践に向けた体制づくり

- PBS推進リーダーを決定
- 市PBSワーキング（研修）
への参加



市PBSワーキングの様子

園全体（スクールワイド）で実践できる体制づくり

取組② マトリクス作成



「じぶん」を大切に

- ・姿勢よく座る。
- ・人の話を聞く。
- ・自分の思いを伝えられる。
- ・いろいろなことに挑戦する。
- ・きまりを守る。

など

「ともだち」を大切に

- ・友達同士で挨拶をする。
- ・返事をする。
- ・困っている友達に声を掛ける。
- ・思いやりの気持ちをもつ。
- ・やさしい言葉をつかう。

など

「もの」を大切に

- ・みんなの物を大切に扱う。
- ・食べ物を大切にする。
- ・生き物を大事にする。
- ・片付けをする。
- ・水を大事に使う。

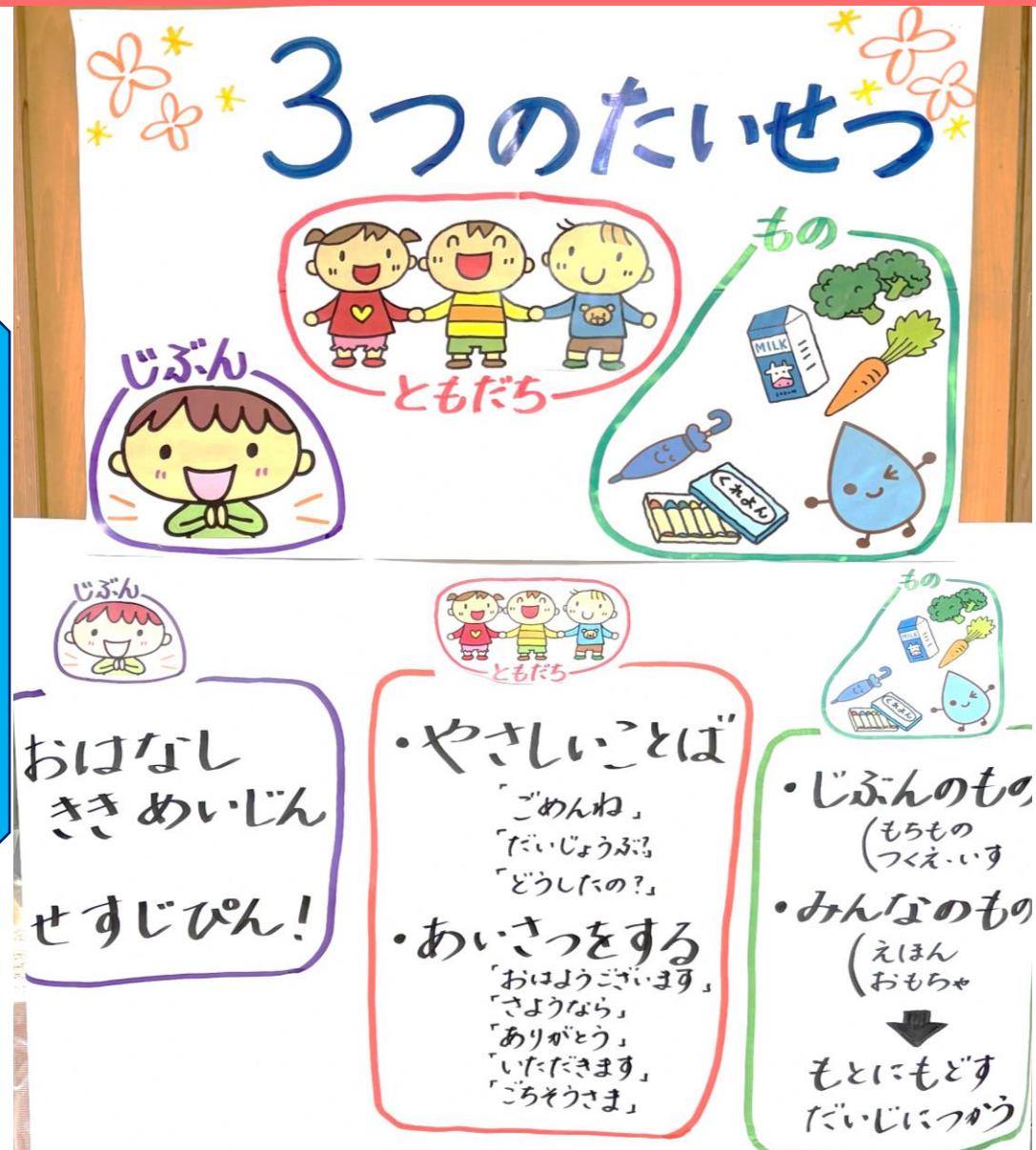
など

取組③ マトリクス完成

子どもたちへ周知

廊下に掲示

実践開始



取組④ 実践

行動のABCをもとにした実践



行動の前

頑張ろう!
もっと良くなりたい!
と思える「仕掛け」

行動

(望ましい行動)

行動の後

望ましい行動が
増える・維持される
仕組みづくり

取組④実践：今週の大切

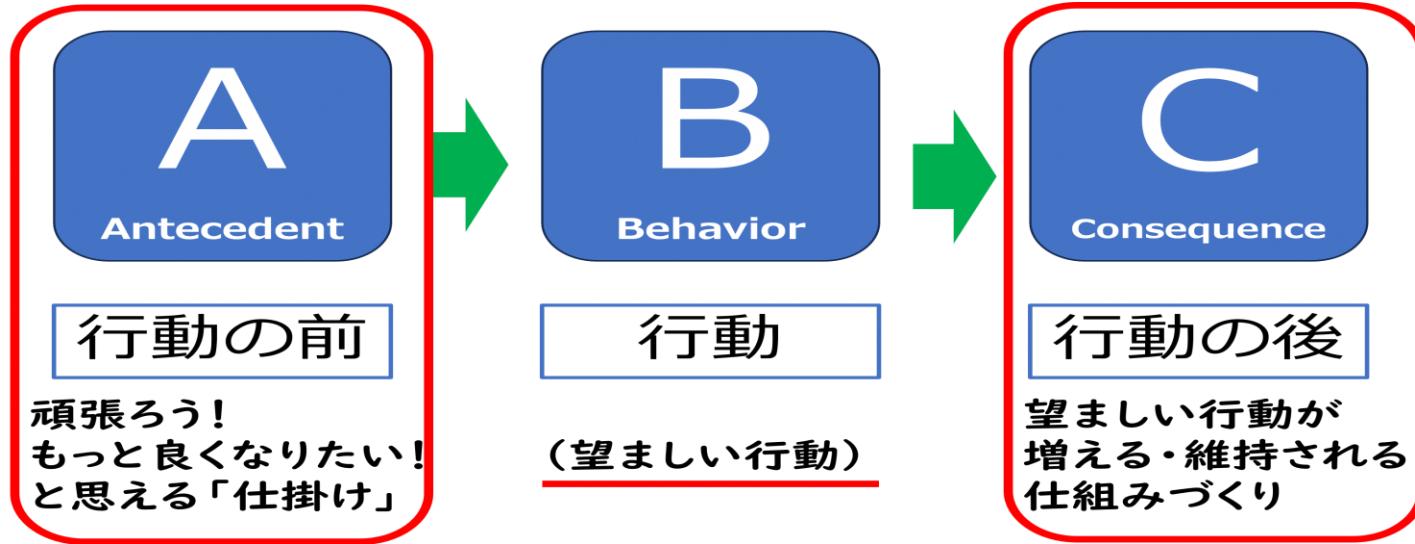
「今週の大切」一覧



今週の大切「せすじぴん」を意識して
お当番や先生の話を聞こうとする子供たち



取組④実践：望ましい行動を増やすきっかけ



取組④実践：オリジナルキャラクター作成



A

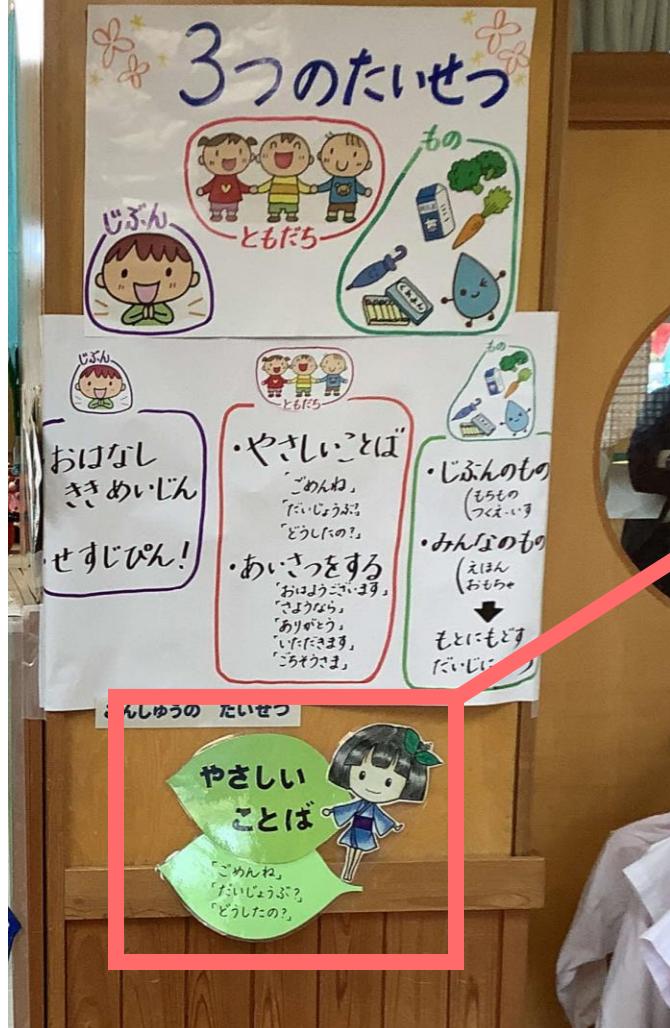
C



「(キャラクターたちと)一緒にがんばりたい!」

取組④実践：今週の大切の設定

(廊下)に掲示



各教室に掲示



取組④実践：今週の大切の教示

園長先生から集会で「今週の大切」について話を聞き、やる気を引き出しています。



学級で「今週の大切」の具体的な行動や意味について話し合っています。



伝えるとき大事にしたポイント

- ・前週を振り返る。



- ・子供たち（お当番）が中心となって伝える。



取組④実践：視覚的なフィードバック

できたらシールを貼ろう！



望ましい行動ができたときの賞賛・承認の方法として、
①一日を振り返り、自分でめあてが達成できたら（ミニキャラクター）にシールを貼る
②月曜日から金曜日まで学級でシールが貯まったミニキャラクターを3つの大切な横に掲示している大きなキャラクターに貼り付ける（お当番が顔を描いて）

目標が変わっても
使える！

取組④ 実践

持続可能な仕組みづくり



行動の前

行動

行動の後

- ・PBS推進キャラクター
- ・今週のめあて



- ・キャラクター×シール



お当番を中心
となって1週間
を振り返り、次
の「たいせつ」
をみんなに伝え
る。

取組④ 実践事例

10月第2週

子供たちと一緒に振り返り

子供たちの声

◎頑張れたこと

- ・「友達に挨拶してもらってうれしかった。」
- ・「先生の話をせすじぴんで聞けるようになって褒められた」
- ・「給食を残さず食べられた。」

◎頑張れなかつたこと

- ・「お友達にやさしいことばが言えなかつた。」
- ・「やさしいことばは難しかつた。」
- ・「給食のとき、お行儀がよくなかった。」

取組④ 実践事例

「やさしいことば」

を達成するための手立て



赤色のシールは
「おはなしききめいじん」

紫色のシールは
「やさしいことば」



子供たちが取り組みにくい難しい
めあてがあることに気付く。

なぜ？

どうすればわかりやすく、**子供たちが取り組みやすくなるか**職員間で話し合う。



○言葉を発する場面を限定し過ぎたのではないか。

○子供たちがわかりにくい例をあげたのではないか。

○具体的な教師の声掛けが足りなかつたのではないか。

取組④ 実践事例

「やさしいことば」 を増やす、定着させるための仕組み



改善した取り組み

- * 子供たちと話し合って言葉を一つに絞る。「ありがとう」
- * 「ありがとう」と言われたときの気持ちを発表してもらう。
- * できている時を見つけて賞賛したり、周りの子供たちにも紹介したりする。
- * 「やさしいことば」「やさしい行動」とはこんなことだと関係のある絵本を読み聞かせする。

振り返り（成果）

入園当初から変わってきた子供たちの姿

- ・子供同士の挨拶が元気にできるようになってきた。
- ・おもちゃや絵本等、片付け方が丁寧になってきた。
- ・手洗いの際、友達同士で水の大切さを伝え合いながら節約して使っている。
- ・子供たちが自分自身で一日の行動を振り返ったり、めあてを意識しながら行動したりするようになった。
- ・望ましい行動ができたことを自分で喜んだり、友達と認め合ったりする姿が見られる。

ポジティブ行動支援を実践してきた教員の変容

- ・子供たちのよいところに目を向けることで、気持ちに余裕をもてるようになった。
- ・不十分ではあるが、自分自身がポジティブな言葉掛けを意識するようになった。
- ・職員間で、子供たちのできていることや頑張っていることを報告し合う機会が増えた。
- ・子供たちにめあてをわかりやすく伝えられるよう様々な教材に目を向け、研究するようになった。